

## 1 単元名 「みんなでおうちをつくろう」

### 2 単元について

本学級は2年生1名、5年生3名、6年生1名の5人の子どもたちで構成されている。子どもたちには、日々、充実した学校生活を送ってほしい。子どもの興味・関心のある課題やその時期にある生活のテーマを単元化した学習を一定期間設定し、一人一人が精一杯取り組み、成就感を味わうことができる生活単元学習を年間を通して実践している。

#### 自分の家とみんなのおうち「なかよしハウス」をつくろう。

本単元は、子どもたちの休み時間の様子をみて設定したものである。

自宅に自分の部屋がある子どもがほとんどなく、自分の部屋がほしいと話す子どもたちである。そのためか、大きな箱を見つけるとその中に入って「わたしのお部屋」と大喜びをしたり、教室の隅に敷いているマットにみんなで集まるとは、ミニチュアの家を家具を置いたり、ブロックや積み木を並べたり、積み上げたりして、家をつくって喜んでいる姿が見られる。

昨年度、各自、大きな段ボール箱で自分のおうちをつくったが、段ボールで家をつくることは初めてで、つくりたい家のイメージが十分持てなかったり、段ボールや紙を切ったり貼ったりの活動がうまくいかなかったりした。そこで本年度は、昨年度の反省を踏まえて、まずはじめに教師がすてきな家や複数のミニチュアの家をつくっておき、子どもたちがつくりたい家のイメージを膨らませることができるようにする。

各自自分の家をつくった後は、みんなが集まることができる大きなおうち「なかよしハウス」を全員でつくってほしい。みんなのおうちをつくるというテーマのもとに、自分の家をつくったときの作業や工程を生かすことができるように、作業を分担し協力しておうちをつくりあげるようにする。

#### 主体的に、精一杯力を出してつくろう。

自分の力を精一杯出して、大きな段ボールをつないだり、くりぬいたり、色を塗ったり、きれいな紙を貼ったりして、自分の家をつくってほしい。できあがった自分の家に友だちを招いたり訪問したりして一緒に遊んだり、工夫してつくったところを話して自慢したりしてほしい。

そのために、どの子も自分で、教師が提示した家をモデルにして、家づくりに必要な空き箱を集めておいたり、事前にスーパーマーケットに段ボール箱を依頼して、もらいに行ったりして、意欲を盛り上げていく。好みの家をつくることができるように、大小様々な段ボール箱、色ケント紙、色紙、色セロファン紙、ラミネートなどの紙類、大きなビニル袋、いろいろな色のポスターカラー、ガムテープ、両面テープなどの材料複数の段ボールカッターやハサミなどの道具を準備し、必要な支援を行いながら、子どもたちのできる状況づくりに努め、子どもたちが自分の力を精いっぱい出してつくりあげることができるようにしたい。

#### みんなで楽しくつくって、楽しく過ごして。おうちの人も招待しよう。

子どもたちができ得る限り自分でつくるができるように、つくる手順を絵や実物で示し見通しを持ちやすくする。また、紙を切り取るために段ボールの型や板を準備したり、同じ長さに切りそろえることができるように事前に線を引いておいたりして、子どもたちができる状況づくりに努める。

つくっていく中で、友だちがつくっている様子を見ながら、もっとすてきなおうちにしたいとの願いももってほしい。友だちに、つくり方を聞いたり、うまくできないところは手伝ってもらったりしながら、工夫して自分の家をつくりあげてほしい。次第にできあがっていくことに喜びを感じ、楽しみながらつくってほしい。

スペースの関係でつくる場所が二教室に分かれているため、全員の家ができあがったら、段ボールの道でつないで行き来し、工夫してつくったところを話したり、友だちの家のいいところや気に入ったところを見つけてほめたり、一緒に遊んだりして過ごしてほしい。みんなの家を訪問しあい、楽しくお話ししたりゲー

ムをしたりして、家で過ごすことを楽しんでほしい。

できあがった家をおうちの人にも見てもらい、頑張ったところを話し、ほめてもらいたい。おうちの人を招待したい。招待日の一週間前に、各自、自分のお父さんやお母さんへ、家づくりの取り組みとできあがった家を見に来てほしい旨の招待状を作成し渡すようにする。

子どもたちがつくった五軒の家を遊戯室に集めて「なかよしタウン」とし、単元の学習が終わった後も休み時間には自由に出入りし、友だちと遊ぶことができる場としたい。

各自の家ができあがった後、みんなで集まって楽しむことができる大きなおうちもつくろうと呼びかけ、みんなで協力して大きなおうち「なかよしハウス」をつくることにする。大きなおうちをつくるというテーマのもと、各自作業を分担してつくっていく。自分の家をつくったときの作業内容を繰り返すことで、見通しをもった活動に取り組むことができると考える。できあがった「なかよしハウス」の中で、みんな一緒に語り合ったり、ゲームをしたりして楽しんでほしい。

### 教師もともに活動して。

教師は、子どもたちがうまく活動できるように適切な支援をする支援者であると同時に、子どもと共に活動する者でありたい。

全ての子どもの家づくりの状況を把握し、必要に応じて材料や作り方のアドバイスをしたり、子どもだけでは困難な箇所を一緒につくったりして、こんな家をつくりたいという子どもの思いが実現できるように支援していく。

最初に子どもたちに提示した教師がつくった家を補強したり、郵便ポストや表札などを付け加えていたりして、子どもたちがつくっている間も一緒に自分の家を完成させていく。

子どもたちが家をつくっていく中で、「きれいな色だね」「丁寧に切ることができたね」などと声をかけたり、「もう少しでできるね」などと励ましたりしながら、完成していく喜びやできあがった成就感を共有できる教師でありたい。

### 3 単元におけるねがい

- 自分から、自分で、自分の力を精一杯出して、家づくりに取り組んでほしい。
- 友だちやおうちの人をできあがった家に招待し達成感を分かち合ってもらいたい。
- 友だちと協力してみんなのおうち「なかよしハウス」をつくってほしい。

### 4 準備

- ・ 自転車の段ボール箱20台分      ・ トイレットペーパーの段ボール箱20個      ・ 小型の段ボール箱多数
- ・ 2cm角材12本      ・ 1m20cm棒 1本      ・ 50cm棒 2本      ・ イレクターパイプ（2m 8本, 160cm 4本）
- ・ ジョイント（3方向 8個・2方向 2個）      ・ カッターナイフ      ・ カッターマット      ・ バインダー
- ・ タフロンテープ 5個      ・ ポスターカラー（赤, 青, 黄, 緑, 白, 水色, ピンク, 橙）      ・ 白表紙
- ・ ケント紙（赤, 青, 黄, 黄緑, 水色, ピンク, クリーム色）      ・ 色セロファン紙（赤・青・黄・緑）
- ・ 段ボールカッター 5本      ・ ハサミ 5本      ・ 布ガムテープ      ・ マジック（黒）      ・ ローラー
- ・ 両面テープ      ・ きり      ・ ラミネート      ・ 重し 2個      ・ 滑り止めのネット

### 5 単元の計画

（子どもの名前は好きなキャラクター名）

9月5日(月)	◎ 自分のつくりたい家を選び計画をたて、つくる
6日(火)	○家をつくる      ・箱をつなぐ      ・窓をつくる      ・壁を塗ったり貼ったりする
7日(水)	・ドア〈出入り口〉をつくる
8日(木)	
9日(金)	↓
12日(月)	・つくっている友だちの家を訪問する ・工夫したところや自慢できることを話す
13日(火)	・家の改善や改良をする      ・壁を飾る
14日(水)	・部屋を飾る      ・屋根をつくる
15日(木)	・机・いすをつくる      ・ネームプレートや表札をつくる
16日(金)	↓
20日(火)	・おうちの人への招待状をつくる

21日(水)	・おうちの人への招待状をつくる
22日(木)	・二つの教室をつなぐ道をつくる
26日(月)	
27日(火)	
28日(水)	・ネームプレートや表札を貼る      ・友だちの家を訪問する
29日(木)	・おうちの人を招待する
30日(金)	・遊戯室に自分たちの家を集めた「なかよしタウン」で遊ぶ
10月3日(月)	◎ みんなのおうち「なかよしハウス」をつくる
4日(水)	・みんなで外壁・内壁を塗る
5日(木)	
6日(木)	・みんなで机・いすをつくる
7日(金)	
11日(火)	・(チョッパーさん, おっこさん) 窓枠をくりぬく
12日(水)	・みんなで壁を取りつける
13日(木)	・(きなこさん) 出入り口をつくる ・(フォーゼ君, ベジータ君) 屋根をはる
14日(金)	・(チョッパーさん, おっこさん) 窓をつくる
17日(月)	
18日(火)	
19日(水)	・「なかよしハウス」を完成させる < 特別支援学級 本時 30/32 >
20日(木)	・「なかよしハウス」でお話したり, 一緒に遊んだりする
21日(金)	・「なかよしハウス」でお話したり, 一緒に遊んだりする

## 特別支援学級 本時学習指導案

### 6 本 時

30/32

特別支援学級

### 7 本時のねがい

- 自分から, 自分で, 自分の作業に精一杯取り組み, 「なかよしハウス」を完成させてほしい。
- みんなで協力して「なかよしハウス」を完成させ, できあがったことを喜んでほしい。

### 8 本時についての考え

本時は, 本単元に入って30時間目の学習である。これまで, 子どもたちはつくりたい自分の家を, 形や色, 材料などを工夫しながら, また友だちの家づくりから参考になることを得て改良や改造をしながら, 満足のいく自分の家をつくりあげてきた。今度はみんなで集うことができる大きなおうち「なかよしハウス」をつくらうととりかかっている。

「なかよしハウス」づくりでは, 全員で取り組む作業と分業して取り組む作業を取り入れる。自分に任せられた作業と, みんなで協力して取り組む作業で「なかよしハウス」をつくりあげるという目標に向かって精一杯取り組むことができるようにしたい。全員で取り組んだ外壁・内壁塗りやハウスの中に入れる段ボールの机やいすづくりが済んだ後, 子どもたちと話し合い, 作業を分担して, 自分がしたい作業, 頑張ったらできるであろう作業に取り組むことにした。きれいな色の窓をつくる, 大きな屋根に瓦にみたてたきれいな色の紙を貼る, 出入り口にたくさんのテープを下げるなどの作業に分かれて取り組んでいる。

どの子ももてる力を精一杯出してつくることができるように, 材料, つくり方の支援を個別に設定している。(「10 本時の展開」, 「11 個別のねがいと支援について」参照)

本時はその「なかよしハウス」を完成させる。分担しているそれぞれの作業は, 自分の家をつくるときに, 取り組んだ作業もあり, 前時まで4時間程度取り組んでいて, 見通しをもって作業することができる。みんなが集い, みんなで一緒に遊んだり, ゲームをしたりすることを目標に完成させてほしい。つくりたかった「なかよしハウス」をつくりあげた喜びや満足感を味わってほしい。

### 9 本時の主張点

- ・ 子どもが主体的に積極的に取り組むように興味のある単元を設定した。
- ・ 子どもが自分で取り組む「個別化」とみんなで協力して取り組む「集団化」の活動を取り入れた。
- ・ 自分の家をつくった活動や前時までの活動を繰り返すことで見通しをもつことができた。

## 10 本時の展開

(子どもの名前は好きなキャラクター名)

学習内容と子どもの活動	教師の支援
<p>1 それぞれの作業に取り組み、「たんぽぽハウス」を完成させることを知る。</p> <p>2 「なかよしハウス」を完成させる。 (1) それぞれの作業に取り組む。</p>	<p>○ 完成間近の「なかよしハウス」を、本時でつくりあげるように声をかける。</p> <p>○ 一人一人の子どもの活動を把握し、声かけや一緒につくる活動は随時行っていく。</p>
<p>○ 出入り口をつくる。(きなこさん)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タフロンテープを台に置き、1mの長さのところに印をつけ、2mのところで切る。</li> <li>・切ったタフロンテープを印のところで折り1m20cmの長さの棒にくくりつける。</li> </ul> <p>○ 屋根瓦をつくって貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色ケント紙に瓦の長さの板をあてて、カッターナイフで切る。(ベジータ君)</li> <li>・ベジータ君が切った色ケント紙に瓦の型紙を置いて形をなぞり、線の通りにハサミで切る。(フォーゼ君)</li> <li>・切った瓦(ケント紙)に両面テープを貼り、屋根板に貼り付ける。</li> </ul> <p>○ 窓をつくる。(チョッパーさん、おっこさん)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・くりぬいた窓の型をラミネートに置いて型どり、ラミネートを切る。</li> <li>・型の番号と同じ番号の窓に切り取ったラミネートを貼る。</li> </ul>	<p>○ タフロンテープが動かないようにするため、テープの両端にのせる重しを置いておく。</p> <p>○ 1mのところに印をつけることができるように、滑り止めをつけた台紙の1mのところに印をつけておく。</p> <p>○ 印をつけたところで折るように声をかけ、棒にくくりつけるのを確認する。</p> <p>○ カッターナイフで切りやすくするため、厚みのある板を準備しておく。</p> <p>○ 全判のケント紙を瓦の幅に切っておき、型とケント紙をカッターマットの角に合わせるように声をかける。</p> <p>○ 線に沿ってていねいに切るように声をかける。</p> <p>○ 貼りやすいように、屋根板に瓦と同じ幅の線を引いておく。</p> <p>○ ベジータ君とフォーゼ君二人で協力して貼るように声をかける。</p> <p>○ 型どった形より2cmくらい外側を切るように声をかける。</p> <p>○ ラミネートを貼る場所を間違えないように、型と壁の窓枠には同じ番号を書いておき、その番号のところに貼るように声をかける。</p>
<p>(2) つくったものを取り付け、「たんぽぽハウス」を完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出入り口にタフロンテープを下げた棒を取りつける。(きなこさん)</li> <li>・屋根を取り付ける。(フォーゼ君、ベジータ君)</li> <li>・窓をつくる。(チョッパーさん、おっこさん)</li> <li>・みんなで机やいすを家の中に入れる。</li> </ul>	<p>○ 棒の両端を下げるフックを出入り口の壁に取りつけておく。</p> <p>○ 足台を準備しておく。教師も一緒に屋根を抱え上げる。</p> <p>○ 屋根が固定できるように止め板をつけておく。</p> <p>○ みんなでつくっておいた段ボール箱でできた机やいすを運び入れるように声かけをする。</p>
<p>3 「なかよしハウス」の完成を祝う。</p> <p>(1) 気に入ったところや頑張ったところを話す。</p> <p>(2) 「なかよしハウス」の中でみんなのできることを話しあう。</p> <p>4. 次時の学習を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は「なかよしハウス」で遊ぶことを知る。</li> </ul>	<p>○ 子どもの話にならずいたり、繰り返したり、子どもが気づいていないところは、話したりする。</p> <p>○ 「なかよしハウス」の中でみんなのできることはないか尋ねてみる。</p> <p>○ みんなのできるゲームを教えることを伝え、次時を楽しみに待つことができるようにする。</p>

## 11 個別のねがいと支援について

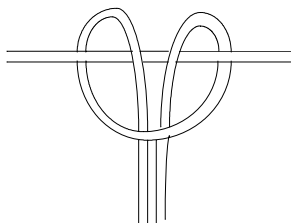
(子どもの名前は好きなキャラクター名)

名前	ねが い	支 援 の 内 容
きなこさん (2年生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タフロンテープを同じ長さ(2m)に切り、棒にくくりつけてほしい。</li> <li>・タフロンテープをくくりつけた棒を出入口に取りつけてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作業する台の上のタフロンテープが動かないようにするため、テープの両端にのせる重しを準備する。</li> <li>○ 1mのところを印をつけることができるように、滑り止めをつけた台紙の1mのところを印をつけておく。</li> <li>○ 出入口の両端に、棒を差し込むことができるようにフックを取りつけておく。</li> </ul>
ベジータ君 (5年生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケント紙をカッターナイフで同じ長さに切ってほしい。</li> <li>・切った紙をフォーゼ君と協力して、順に屋根に貼ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ長さの紙を切ることができるように、また、切りやすくするため、瓦の長さの厚みのある板を準備する。</li> <li>○ たくさん切ることができるように、ケント紙を3枚重ね、端を合わせて切るように声をかける。</li> <li>○ カッターナイフを使うときは刃から目を離さないように声をかける。</li> <li>○ 屋根板に貼りやすいように、屋根板に線を引いておき、下から貼るように声をかける。</li> </ul>
フォーゼ君 (5年生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケント紙に瓦の型紙をおいて形をなぞり、ハサミでていねいに切ってほしい。</li> <li>・切った紙をベジータ君と協力して、順に屋根に貼ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同じ形の紙を切ることができるように、瓦の型紙を準備する。</li> <li>○ ずれないために、バインダーにケント紙と型紙の下をそろえてはさみ、なぞるように声をかける。</li> <li>○ 線に沿ってきれいに切るように声をかける。</li> <li>○ 屋根板にはりやすいように、屋根板に線を引いておき、下から貼るように声をかける。</li> </ul>
チョッパーさん (5年生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くりぬいた窓の型を当ててラミネートを切り、壁の窓枠に貼ってほしい。</li> <li>・おっこさんと協力して、窓枠にラミネートを貼ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 窓の大きさに切ることができるように、窓をくりぬいた段ボールを型として使うようにする。</li> <li>○ ラミネートを貼る場所を間違えないように、型と壁の窓枠には同じ番号を書いておき、その番号のところに貼るように声をかける。</li> <li>○ 壁の窓枠には事前に両面テープを貼っておく。</li> <li>○ きれいに貼るには、二人で協力した方がいいことを話す。</li> </ul>
おっこさん (6年生)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くりぬいた窓の型を当ててラミネートを切り、壁の窓枠に貼ってほしい。</li> <li>・時間一杯活動してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 窓の大きさに切ることができるように、窓をくりぬいた段ボールを型として使うようにする。</li> <li>○ ラミネートを貼る場所を間違えないように、型と壁の窓枠には同じ番号を書いておき、その番号のところに貼るように声をかける。</li> <li>○ 壁の窓枠には事前に両面テープを貼っておく。</li> <li>○ 窓ができあがるたびに賞賛し、活動が持続するように励ます。</li> </ul>

## 12 完成予想図

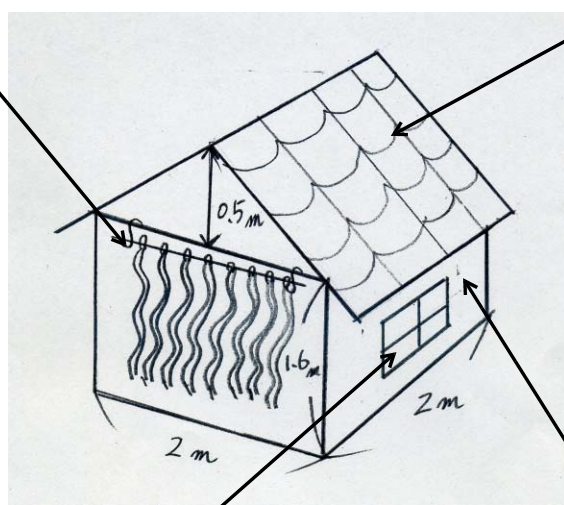
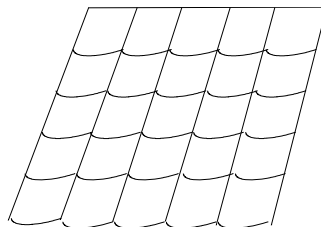
### 入口

棒にタフロンテープをくくりつけてさげる。



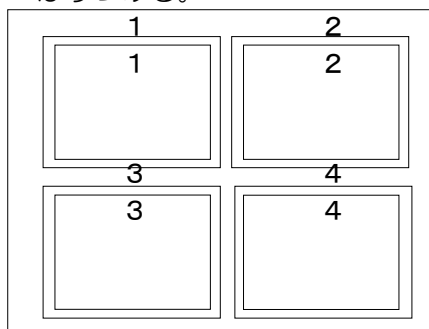
### 屋根

ダンボールの土台にケント紙を切ってはる。



### 窓

くり抜いた窓にラミネート板をはりつける。



### 壁

イレクターパイプとダンボールの壁を結びつける。

